

平成28年度 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会 事業報告書

(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

平成28年度、大田原市社会福祉協議会は、下記の4つの事業に重点を置き、関係機関や団体と密接に連携・協働を図りながら、各種事業に取り組みました。

市から「生活困窮者自立支援事業」を受託し、法律や制度では解決が困難な問題を抱えた方の相談を受け、それぞれの相談者に見合った必要な支援を行いました。

安心生活見守り事業においては、誰もが元気でいきいきと住み慣れた地域で暮らせるように、地域ぐるみの見守り活動が展開されています。大田原市の見守り活動の取り組みは全国でも高く評価され、多くの団体が視察研修に訪れました。28年度も関係機関の協力をいただき、地域住民の皆様の参加により活動を進めました。

ふくし共育推進事業では児童・生徒が共に地域の福祉課題を考える「学校と地域がつながるふくし共育プログラム」を提案し、次年度の取り組みにつなげました。

災害にも強い地域づくり事業として、災害ボランティアセンター運営連絡会を開催し、災害時のボランティア活動が円滑にすすめられるように関係団体の連携を進めました。

このほかに高齢者や障害者、その家族など介護や生活支援を必要とする方へのサービスとして、介護保険による居宅介護支援事業・訪問介護事業、障害福祉サービス事業、日常生活自立支援事業（あすてらすおおたわら）などを実施しました。

＝平成28年度重点事業＝

- (1) 生活困窮者自立支援事業
- (2) 安心生活見守り事業
- (3) 福祉教育（ふくし共育）推進事業
- (4) 障害者児相談支援事業

□事業実施状況

I 地域福祉の推進・発展のための人づくり、地域づくり事業

1 安心生活見守り事業

(1) 安心生活見守り事業

少子高齢化社会の進展による人口の減少とともに、単身世帯の増加や近隣関係の希薄化など、社会から孤立する人が生じやすい環境となり、従来の見守りや制度からもれる人を社会から孤立させずに支援していく仕組みづくりを行う「安心生活見守り事業」について、大田原市からその一部を受託している。平成21年度から地区社会福祉協議会を実施エリアとして、自治会ごとの見守りや買い物支援などを基盤支援として、市、地域包括支援センター、警察や消防などの関係機関団体と連携し、事業を実施している。

平成26年度をもって市内で全地区の12見守り隊が発足した。

①各地区の状況

i) 黒羽見守り助け合い隊

・ 隊の概要

発足式年月日	平成22年3月16日
自治会数	13自治会
見守り利用者数	125人
隊員数	106人

・ 平成28年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月15日	買い物ツアー（ヨークベニマル那須塩原店）	28人
4月25日	隊長会議（活動報告、活動計画等）	17人
6月18日	茶話会（北滝、片田、亀久、矢倉）	48人
6月21日	隊長会議（推進会議について）	15人
7月 5日	推進会議（活動報告、活動計画等）	61人
10月29日	茶話会（堀之内、北区、南区東、南区西）	40人
11月11日	買物ツアー（那須塩原市）	31人
2月23日	隊長会議	20人
3月 2日	茶話会（田町・前田・八塩）	30人
毎月	助け合い隊便りの発行配布	370部

ii) 佐久山おもいやり隊

・ 隊の概要

発足式年月日	平成23年2月8日
自治会数	17自治会
見守り利用者数	163人
隊員数	118人

・ 平成28年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
5月20日	推進会議（要綱改正、活動報告、活動計画）	73人
6月28日	民生委員との情報交換会	11人
7月 1日	隊長会議（視察研修、茶話会、会食会）	16人
7月29日	隊員視察研修（日光市）	30人
8月 5日	茶話会（福原地区）	48人
8月19日	会食会	68人
10月21日	隊長会議（バザー）	31人
11月13日	佐久山産業文化祭参加（バザー）	—
12月11日	民生委員との情報交換会	11人
2月22日	推進会議（活動報告、情報交換）	52人
3月29日	新旧隊長会議	38人

iii) 紫塚地区見守り隊

・ 隊の概要

発足式年月日	平成23年7月24日
自治会数	7自治会
見守り利用者数	102人
隊員数	80人

・ 平成28年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月27日	新旧隊長会議（活動報告、活動計画）	24人
5月23日	推進会議（活動報告、活動計画、グループワーク）	51人
5月27日	地区隊打ち合せ（深川）	8人
6月13日	隊長会議（会食会）	18人
7月 20日	会食会	87人

9月24日	ふれあい広場展示	—
10月20日	隊長会議（認知症サポーター養成講座）	21人
10月15日 ～ 16日	西地区文化祭 （西地区あったか思いやりの会と合同）	—
10月20日	隊長会議（認知症サポーター養成講座）	21人
12月14日	認知症サポーター養成講座	38人
2月15日	隊長会議（活動報告、活動計画、民生委員・児童委員引継ぎ）	26人

iv) ちかその思いやり隊

・ 隊の概要

発足式年月日	平成24年11月30日
自治会数	9自治会
見守り利用者数	171人
隊員数	122人

・ 平成28年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月 8日	推進会議（活動報告、活動計画）	76人
5月18日	隊長会議（認知症サポーター養成講座）	23人
6月23日	認知症サポーター養成講座	63人
7月 5日	民生委員との情報交換会	8人
8月25日	隊長会議（買い物ツアー、会食会、バザー）	24人
10月 4日	会食会	65人
10月30日	親園地区文化祭（バザー、福祉相談）	—
11月10日	買い物ツアー	35人
12月 2日	民生委員との情報交換会	16人
2月24日	隊長会議	27人
3月28日	新旧隊長会議	35人

v) 西部地区あったか思いやりの会

・ 会の概要

発足式年月日	平成25年2月4日
自治会数	9自治会
見守り利用者数	210人
会員数	129人

・平成28年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月20日	地域包括ケア会議	14人
4月22日	地区会長会議（活動報告、活動計画）	14人
5月13日	推進会議（活動報告、活動計画、グループワーク）	86人
6月29日	西原地区会	20人
8月 1日	加治屋地区茶話会（健康講座）	38人
8月26日	浅野地区茶話会（認知症予防）	33人
8月27日	原町地区茶話会（消費生活被害防止講座）	22人
9月19日	赤堀西地区茶話会（健康講座）	45人
10月15日 ～16日	西地区文化祭（紫塚地区と合同）	—
10月11日	地区会長会議	9人
10月30日	あったか広場出展	—
11月 4日	赤堀東茶話会	31人
11月13日	実取団地茶話会	19人
12月 2日	西原そば会食会	23人
2月16日	地区会長会議（活動報告、活動計画）	34人
3月9日	推進会議（活動報告、活動計画）、隊員研修（救命講座）	73人

vi) 須賀川地区見守り隊

・隊の概要

発足式年月日	平成25年10月29日
自治会数	11自治会
見守り利用者数	157人
隊員数	111人

・平成28年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
6月 7日	隊長会議（活動報告、活動計画）	21人
6月 7日	推進会議（活動報告、活動計画）	55人
6月	隊員による利用者への安否確認、手ぬぐい配布（全利用者対象）	65人

8月23日	隊長会議	17人
10月6日	救急救命講座	48人
11月6日	やみぞあづまっぺ秋の収穫祭り参加（募金活動）	—
12月4日	須賀川新そば祭り参加（募金活動）	—
3月15日	隊長会議	23人

vii) ゆづかみ見守り隊

・ 隊の概要

発足式年月日	平成25年11月8日
自治会数	13自治会（地区隊数:11）
見守り利用者数	113人
隊員数	255人

・ 平成28年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月2日	地区説明会（新宿）	17人
4月7日	地区説明会（蛭田）	16人
4月22日	地区説明会（古宿）	12人
4月29日	地区説明会（狭原）	18人
5月12日	隊長会議（活動報告、活動計画）	24人
5月15日	地区説明会（湯津上下）	26人
6月16日	ふれあいお楽しみ会（地区社協合同）	71人
6月30日	茶話会（狭原）	19人
7月12日	地域包括ケア会議	9人
8月19日	隊長会議	18人
10月23日	天狗王国まつり（啓発活動）	—
10月25日	ゆうあい広場（啓発活動）	—
12月11日	隊員研修（狭原、救急救命講習会）	16人
2月12日	茶話会（東部地区）	38人
3月10日	隊長会議	22人

viii) 東部地区見守り隊

・ 隊の概要

発足式年月日	平成25年11月19日
自治会数	26自治会
見守り利用者数	145人
隊員数	498人

・ 平成28年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月 6日	地域包括ケア会議	6人
4月26日	地区説明会（富士見ハイツ）	32人
5月19日	隊長会議（活動報告、活動計画、活動費の配分等）	40人
6月16日	推進会議（活動報告、活動計画、委嘱状の交付等） 隊員研修会（救命講習）	79人
7月22日	先進地視察研修（牛久市社会福祉協議会）	33人
8月29日	隊員研修（認知症サポーター養成講座）	46人
9月27日	隊長会議（活動報告等）	28人
10月10日	ふれあい広場（PR活動、握力測定）	—
11月27日	茶話会（仲町地区）	24人
2月22日	茨城県牛久市岡田小学校区地区社協視察受入	13人
2月23日	隊長会議（活動報告、活動計画等）	54人
3月17日	地域包括ケア会議	12人

ix) 両郷地区見守り隊

・ 隊の概要

発足式年月日	平成26年6月25日
自治会数	12自治会（9地区隊）
見守り利用者数	160人
隊員数	170人

・ 平成28年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月25日	隊長会議（事業報告、事業計画等）	21人
5月31日	隊員研修（認知症サポーター養成講座）	50人
10月 7日	隊長会議	19人
2月22日	隊長会議	18人

x) 川西地区見守り隊

・ 隊の概要

発足式年月日	平成26年11月19日
自治会数	15自治会
見守り利用者数	100人
隊員数	321人

・ 平成28年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月 3日	安心生活見守り事業説明会（上町地区）	19人
4月12日	安心生活見守り事業説明会（桧木沢地区）	17人
4月13日	安心生活見守り事業説明会（蜂巢地区）	10人
4月15日	安心生活見守り事業説明会（下町1地区）	12人
4月24日	安心生活見守り事業説明会（下町2地区）	39人
5月11日 ～3月28日	地区別カフェ（上町地区、下町1地区、下町2地区 大豆田地区、余瀬地区、蜂巢地区、篠原地区）	204人
5月14日	隊長会議（推進会議）	31人
6月5日 ～3月24日	認知症サポーター養成講座 （下町2地区、余瀬地区他）	63人
6月11日	推進会議（委嘱状の交付、研修会）	106人
6月23日	野木町視察研修受け入れ	26人
8月27日	蜂巢、篠原地区祭り（募金活動）	-
8月29日	認知症サポーター養成講座（余瀬、蜂巢、篠原）	12人
11月23日	黒羽矯正展（バザー）	8人
3月 3日	隊長会議	33人
3月18日	高齢者ファッションショー	33人
不定期	見守り隊便り（8回）	-

xi) 金田地区おもいやり隊

・ 隊の概要

発足式年月日	平成26年11月28日
自治会数	26自治会（32地区隊）
見守り利用者数	152人
隊員数	369人

・平成28年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月20日	新旧隊長会議	61人
5月18日	推進会議	67人
7月26日	隊員研修（認知症サポーター養成講座）	23人
11月12日	金田地区文化祭（活動PR）	—
2月23日	隊長会議	53人
2月24日	地域包括ケア会議	—

xii) 野崎地区見守り隊

・隊の概要

発足式年月日	平成27年2月19日
自治会数	11自治会
見守り利用者数	121人
隊員数	255人

・平成28年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月28日	新旧隊長会議	32人
5月12日	推進会議	132人
6月24日	チーム隊長会議	21人
7月13日	認知症サポーター養成講座	28人
7月27日	認知症サポーター養成講座	45人
10月30日	野崎文化祭（PR活動）	—
11月11日	チーム・隊長会議（事業報告等）	17人
1月27日	チーム・隊長会議（事業報告等）	18人
3月12日	地区説明会（野崎ニュータウン）	15人
3月19日	地区説明会（中薄葉、平沢）	25人
3月24日	チーム、隊長会議（新年度活動計画案等）	20人
3月26日	地区説明会（上薄葉）	30人

②安心生活見守り事業関連の視察受け入れ一覧

月日	依頼者	参加人数	内容
5月11日	日光市今市地区民児協	21人	安心生活見守り事業の取り組み

6月22日	野木町赤十字奉仕団	30人	安心生活見守り事業の取り組み 川西地区社協の活動
6月24日	足利市三重地区社協	30人	安心生活見守り事業の取り組み
7月12日	鹿沼市中央地区自治会	9人	安心生活見守り事業の取り組み
9月6日	日光市ボランティア団体協議会	31人	安心生活見守り事業の取り組み
9月9日	群馬県吉岡町社協	25人	安心生活見守り事業の取り組み
9月10日	那須塩原市三島地区コミュニティ	65人	安心生活見守り事業の取り組みと 見守り事例
9月12日	真岡市社協	75人	見守り体制づくりの取り組みとマ ップ作りの活用方法
9月21日	小山市社協（事務局）	3人	小山市社協で実施予定の見守り活 動について検討、意見交換
9月29日	福島県玉川村民児協	21人	安心生活見守り事業の取り組み
10月11日	下野市（事務局）	10人	安心生活見守り事業の取り組み
11月15日	さくら市社協	13人	生活困窮者支援事業、安心生活見 守り事業の取り組み
11月17日	前橋市社協	35人	安心生活見守り事業の取り組み
11月28日	佐野市田沼地区社協	30人	安心生活見守り事業の取り組み
1月27日	足利市御厨地区社協	39人	安心生活見守り事業の取り組み
2月17日	足利市山辺地区社協	41人	安心生活見守り事業の取り組み
2月22日	茨城県牛久市岡田小学校区地 区社協	6人	見守り活動の状況、課題について
3月6日	前橋市芳賀地区社協	36人	安心生活見守り事業の取り組み
合 計		520人	18回

③安心生活見守り事業 会議等

月 日	内 容	会 場
7月 4日	安心生活見守り事業活動報告会 (健康セミナー)	那須野ヶ原ハーモニーホール
2月 3日	安心生活見守り事業推進会議	大田原西地区公民館

○救急医療情報キットの普及支援

大田原市が平成24年10月から配布している「救急医療情報キット」に関し、市社協では、各地区の民生委員や見守り隊員（会員）と協力して、見守り利用者に対し救急医療情報キットの説明、申請代行、配布を行った。

平成28年度配布本数 67本（本所のみ） 本所累計 1,131本

2 地域福祉活動計画の推進

(1) 第二次地域福祉活動計画推進事業

基本目標を『おたがいを おもいやり たのしく わらってくださるまち 大田原』とした、第二次地域福祉計画・地域福祉活動計画（平成26年度から30年度）を、平成25年度に市や地域住民ともに策定している。平成26年～28年度は、計画の進捗状況を把握するため、市民、施設・団体、市、社会福祉協議会ごとに取り組み状況の調査を行った。

平成28年度は、進捗状況の把握、活動計画の評価及び見直しを行うため、第1回地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を開催した。

- ・日 時 平成29年1月20日（金）午後1時30分～4時
- ・場 所 大田原西地区公民館
- ・参加者 大田原市地域福祉活動計画推進委員会委員 30名
- ・内 容 第二次地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況と評価グループワーク
- ・アドバイザー 国際医療福祉大学医療福祉マネジメント学科
准教授 林 和美 氏

3 小地域福祉活動

(1) 福祉委員（小地域福祉ネットワーク）活動推進事業

福祉委員は、各自治会長の推薦により173名が活動を行った。

小地域福祉ネットワーク活動の推進役として、福祉委員は民生委員・児童委員をはじめ、隣近所やボランティアなどの協力を得ながら、見守り対象者を把握し、高齢者等に対する見守り活動や地区社協の食事サービス活動支援等を行った。

① 福祉委員活動に関するアンケートの実施（3月）

② 民生委員・児童委員、福祉委員連絡協議会の開催

地域の見守り活動の推進役である福祉委員の理解促進を図るとともに、身近な相談役である民生委員・児童委員とのつながりづくりを目的に開催した。

	地 区	月 日	場 所
1	黒羽地区（黒羽、須賀川）	8月 3日（水）	黒羽川西地区公民館

2	金田地区	8月4日(木)	金田北地区公民館
3	黒羽地区(川西、両郷)	8月10日(月)	両郷地区コミュニティセンター
4	湯津上地区	8月24日(水)	市湯津上庁舎
5	大田原東部地区	9月1日(木)	大田原西地区公民館
6	親園地区、佐久山地区、野崎地区	9月14日(水)	大田原西地区公民館
7	大田原西部地区、紫塚地区	10月27日(木)	大田原西地区公民館

(2) 地区社会福祉協議会活動支援事業

地区社会福祉協議会が実施する事業活動について、支援を行うとともに、加入普通会員一人当たり250円の活動助成金を交付した。

各地区社会福祉協議会の主な事業活動は、次のとおりであった。

①地区社協連絡会議の開催

ふくし共育の理解と、地域と学校(児童・生徒)がつながりをもち、共に学びともに活動することで、地域に福祉の輪が広がっていくことを目的に開催した。

日 時：2月14日(火) 午後1時30分～午後3時30分

場 所：市福祉センター

参加者：地区社協関係者47人

内 容：

- ・ふくし共育モデル地区事業報告

[紫塚地区] 紫塚小学校：上野純子教諭、紫塚地区社協：藤沼久子会長

[佐久山地区] 佐久山中学校：池澤 洋 校長、佐久山地区社協：廣瀬憲一会長

講話：「これからのふくし共育のあり方」

講師：国際医療福祉大学 医療福祉・マネジメント学科 大石 剛史 准教授

②活動助成の内容

地区社協名	助成金	主な事業活動
大田原東部地区社協	524,000円	ふれあい広場、食事サービス(月1回)、「東部社協だより」の発行等
大田原西部地区社協	651,000円	あったか広場、食事サービス(月4回)、「あったかだより」の発行等
紫塚地区社協	287,500円	ふれあい紫広場、食事サービス(月3回)、視察研修、「むらさきづか社協だより」の発行等
金田地区社協	710,250円	食事サービス(月2回)、研修会等
親園地区社協	216,500円	食事サービス(月2回)、「親園福祉だより」の発行

野崎地区社協	426,450 円	ふくしのまち野崎文化祭、食事サービス（月 4 回）、「ふくしのまち野崎」の発行等
佐久山地区社協	167,500 円	食事サービス（月 2 回）、視察研修、「さくやま社協だより」発行等
湯津上地区社協	257,500 円	友愛訪問食事サービス（月 1 回）、世代間交流事業（縄よじり、豊年棒づくり）、地区社協だより「ゆうあい」の発行、ふれあい友愛広場
黒羽地区社協	253,750 円	友愛訪問食事サービス（月 1 回）、ふれあいサロン（ひとり暮らし高齢者会食会-川西地区社協と合同）、「黒羽地区社協だより」の発行等
川西地区社協	332,000 円	友愛訪問食事サービス（年 6 回）、ふれあいサロン（ひとり暮らし高齢者会食会-黒羽地区社協と合同）、「川西地区社協だより」の発行、ふれあい敬老会支援
両郷地区社協	134,750 円	学校安全パトロール、友愛訪問食事サービス（年 11 回）、地区社協だより発行等
須賀川地区社協	129,750 円	友愛訪問食事サービス（年 8 回）、視察研修等
計	4,090,950 円	

③食事サービス事業への支援

各地区社会福祉協議会等が実施している、ひとり暮らし高齢者等を対象とした、「食事サービス事業」に対して、1食あたり400円の助成を行った。配付時には見守り活動（訪問安否確認）も兼ねている。

地区社協名	平成 28 年度 食事数	実施回数	対象者数	前年度食事数
大田原東部地区社協	865 食	12 回	74 人	856 食
大田原西部地区社協	2,183 食	48 回	61 人	2,028 食
紫塚地区社協	2,375 食	37 回	80 人	2,179 食
金田地区社協	720 食	24 回	41 人	801 食
親園地区社協	222 食	24 回	10 人	206 食
野崎地区社協	806 食	47 回	19 人	899 食
佐久山地区社協	855 食	33 回	30 人	609 食
湯津上地区社協	558 食	12 回	50 人	590 食

黒羽地区社協	689 食	10 回	75 人	738 食
川西地区社協	478 食	6 回	84 人	518 食
両郷地区社協	382 食	11 回	44 人	310 食
須賀川地区社協	208 食	8 回	26 人	233 食
市ボランティア連絡協議会 (黒羽支部)	577 食	4 回	283 人	575 食
合計	10,918 食	276 回	877 人	10,542 食

(助成総額 4,367,000円うち共同募金配分3,815,000円)

(3) 友愛訪問活動への支援

地域のひとり暮らしや寝たきりの高齢者等の孤立を防止し、社会参加を促進することをねらいに、いきいきクラブの協力を得て、友愛訪問活動を実施し助成を行った。(20クラブに助成)

4 ボランティア活動の推進

(1) ボランティアセンター事業

①中高生が考える福祉のまちづくりIN大田原

感受性豊かな年代である中・高校生が、自分たちは災害が発生したときに何ができるか、避難所はどのようになるか、障がい当事者にとって利用しやすい状況であるか、必要な配慮は何かなど体験を通して考える。そして、地域の方や障がい当事者と一緒に学ぶことで、地域にはいろいろな人が住んでいて、いろいろな状況で生活していることに気づき、理解を深め、災害時だけでなく日頃の地域でのつながりづくりの大切さを学び、福祉のまちづくりの担い手を育てることをねらいとした。

- ・日 時：8月23日(火) 午前10時～午後3時30分
- ・場 所：トコトコ大田原 市民交流センター3階、中央多目的公園
- ・参加者：101名(中高生47名、地域の方、障がい当事者、スタッフ他)
- ・テーマ：「災害時の避難所体験から学ぼう！地域のために私たちができること」
 - 炊き出し訓練
 - 避難所での体験(テント張り、炊き出し、テントの片付け)
 - グループワーク
 - ふりかえり
 - グループ発表

②災害ボランティア講座

災害発生時には、行政、社協、ボランティア団体等が協働で取り組むことが必要

であり、災害発生時に協力し合えるつながりづくり、また、災害ボランティア並びにボランティアリーダーを育成することをねらいに実施した。

○災害ボランティアセンター運営訓練

- ・日 時：9月10日（日） 午前10時～午後3時30分
- ・場 所：大田原西地区公民館2階会議室、市福祉センター研修室
- ・出席者：61名（参加者43名 本会職員18名）
- ・講 師：認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク事務局長 矢野正広氏
- ・内 容：
 - ・災害ボランティアセンターを作ってみよう
 - ・災害ボランティアセンターを体験してみよう
 - ・被災者のニーズについて考えてみよう
- ・社協職員の参加：災害発生時において、市民の生活を支えるために社協職員がかかわるといふ共通の認識をもち、日頃から業務の中で災害に備えるため、職員も講座を受講した。

③市民のまちづくり事業（市・大学ボランティアセンターとの共催）

市政策推進課・生涯学習課・国際医療福祉大学IUHWボランティアセンターとの共催で、市民のまちづくり事業を実施した。社協は福祉ボランティア育成の事業という観点も含めて運営委員会「紙ひこうきの会」の支援を行った。

○運営委員 20名

○運営委員会 11回開催

市民のまちづくりを進める「紙ひこうきの会」のあり方 他

○分科会の活動

- ・居場所づくり
- ・子育て
- ・おおたわら再発見
- ・生きがいつくり
- ・情報発信

○生涯学習フォーラムへの参加（事例発表、活動報告）

日 時：平成29年2月11日（土）午前10時～午後4時

場 所：大田原市生涯学習センター

④市ボランティア連絡協議会との連携・協力

市ボランティア連絡協議会が実施する各種福祉活動（与一まつりしあわせ広場、手作り弁当の配布等）への連携・協力を行った。

⑤ボランティア活動保険の加入促進

種別	年間保険料	死亡保険金額	加入者数	前年度加入者数
Aプラン	300円	1,200万円	2,991人	2,256人
Bプラン	450円	1,800万円	60人	456人
天災Aプラン	430円	1,200万円	9人	60人
天災Bプラン	650円	1,800万円	30人	55人
計			3,090人	2,837人

⑥ボランティア登録の推進

ボランティア情報紙「だいすき」での情報の提供、県等から送付されるボランティア情報の提供、各福祉施設のボランティア要請情報の提供等を行った。ボランティアに関する相談に応じ、ボランティア活動をして欲しい人とボランティアしたい人の橋渡し（ボランティアコーディネート）を行った。

区分	団体登録		個人登録	ボランティア相談	ボランティアコーディネート
	団体数	登録者数			
平成28年度	138団体	4,129名	70名	25件	33件

⑦ボランティア活動機材の貸与

点字プリンター、点字盤、アイマスク、車いす等を貸与し、ボランティア団体や、小・中学校の「総合的な学習の時間」を活用した福祉教育の支援に努めた。

品目	延べ利用件数	品目	延べ利用件数
車いす	74台	カセットテープレコーダー	0回
アイマスク	15枚	移動式スクリーン	0回
点字盤	58台	ビデオ・DVD	0回
点字プリンター	0台	書籍等	0回
高齢者擬似体験用具	70台	その他	107回

(2) 災害にも強い地域づくり事業の推進

①災害ボランティアセンター運営連絡会の開催

災害時のボランティア活動支援を迅速かつ円滑に開設・運営できるよう、また日常の関係団体・機関等の連携を進めるため設置している災害ボランティアセンター運営連絡会を開催した。

「大田原市災害ボランティアセンター」は「大田原市地域防災計画」に基づき、大規模災害発生時などに、災害ボランティアの活動拠点として市社協に設置されるもので、被災地の復旧・復興支援のためのボランティア受入と活動の支援を行うものである。

○構成団体：市民生委員児童委員協議会連合会・市ボランティア連絡協議会・那須野ヶ原青年会議所・IUHWボランティアセンター（国際医療福祉大学）・大田原市（保健福祉部福祉課・総合政策部危機管理課）・市社会福祉協議会

○連絡会の開催（委員14名・オブザーバー 2名）

開催日	内 容	出席者数
3月30日	・「大田原市災害ボランティアセンター運営指針」の改訂について ・各団体の活動についての情報交換 他	14名 オブザーバー2名

②「大田原市災害ボランティアセンター運営指針」第3回改訂版の作成

大田原市では『大田原市地域防災計画』で市社協の役割の中に、災害予防対策（ボランティア活動の環境整備）、災害応急対策（市災害ボランティアセンターの設置・運営）が位置づけられている。

災害発生時に設置される「大田原市災害ボランティアセンター」をスムーズに運営するために、平成25年度に作成した「大田原市災害ボランティアセンター運営指針」を一部改訂した。

5 福祉教育（ふくし共育）推進事業

(1) 福祉教育（ふくし共育）推進事業

①福祉教育副読本「ともに生きる」の発行

平成24年度に第5回改訂を行った福祉教育副読本「ともに生きる」を、市内の小学校1年生（704部）、4年生（679部）、及び中学1年生（752部）を対象に配付し、義務教育年代における福祉教育の振興に努めた。

②学校等の福祉教育への支援

小・中学校等の学校での福祉教育の現場へ、障がい当事者や、福祉教育支援ボランティア「ささえ」をはじめ、地域のボランティアとともに社協職員が出向き、児童・生徒に対する福祉教育を支援した。

福祉とは「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせのためのもの」であり、自分やまわりの人にも関係するものであることを児童・生徒に伝えた。

そして、学校からの相談に応じ、講師との調整や資料提供などコーディネートを行った。その際には、子どもたち自身が地域でつながりをもって暮らして

いけるよう、地域で「共に生きる力」をつけることを目的に、地域に暮らす障がい当事者や地域福祉活動をしている方と、児童・生徒をつなぐ働きかけを行った。他に児童・生徒の相談に応じた。

○学校等への福祉教育支援状況一覧

	実施日	学校等	対象	参加者数	内 容
1	6月10日	薄葉小	6年生 保護者	84人	福祉の話、高齢者擬似体験、車いす体験、車いす利用者のお話
2	6月16日	佐久山小 福原小	4年生	15人	福祉の話、車いす、高齢者擬似体験
3	6月24日	親園中	3年生	31人	福祉の話、地域で活動する方との交流
4	6月29日	川西小	4年生	36人	福祉の話、車いす利用者の話・車いす、高齢者擬似体験
5	7月11日	大田原小	5年生	89人	障がい者当事者の話、車いす体験、点字体験
6	7月12日	両郷中央小	4年生	6人	福祉の話、車いす、高齢者擬似体験
7	7月14日	紫塚小	5年生	50人	福祉の話、高齢者擬似体験、手指の体験
8	9月7日	佐良土小	2年生	9人	高齢者擬似体験、車いす体験
9	9月8日	奥沢小 ・金丸小	5年生	31人	福祉の話、高齢者擬似体験、車いす体験
10	9月8日	金田南中	3年生	43人	福祉の話、障がい当事者の話と交流
11	9月12・ 13日	西原小	4年生	160人	福祉の話、高齢者擬似体験、年をとることワークショップ
12	9月13日	両郷中央小	4年生	6人	見えない方の話と交流、点字
13	9月21日	蛭田小	4年生	11人	高齢者擬似体験、車いす体験
14	9月23日	蛭田小	4年生	11人	手話体験
15	9月26日	蛭田小	4年生	11人	点字体験
16	9月27日	親園中	3年生	31人	福祉の話、障がい当事者の話と交流
17	10月17日 ・18日	西原小	4年生	160人	見えない方のお話・展示体験
18	10月	大田原中	福祉委員	53人	赤い羽根共同募金の使い道・地域の方と一緒に街頭募金活動
19	10月17日	佐久山中	1・2・3年生	36人	災害図上訓練

20	10月25日	紫塚小	5年生	50人	認知症に優しい地域を考えよう
21	11月4日	市野沢小	4~6年生	160人	車いす利用者のお話
22	11月16日	西原小	4年生	160人	中途失聴・難聴の方の話
23	11月18日	西原小	4年生	160人	車いす利用者のお話
24	11月21日	親園小	4年生	27人	福祉の話、障がい者当事者の話と交流 (3名)・車いす・アイマスク・手話体験
25	11月29日 12月1日	西原小	4年生	160人	車いす体験
26	1月26日	大田原小	5年生	83人	ふくしの話・高齢者擬似体験・手指 の体験
27	3月3日	薄葉小	4年生	42人	点字体験
28	3月6日	薄葉小	4年生	42人	手話体験
計				1,757人	

③学童・生徒のボランティア活動普及事業

（“小地域で考える”福祉教育推進モデル事業）

児童・生徒が、地域の福祉課題を地域の方と一緒に解決するプロセスから共に学び、共に生きる地域づくりを推進し、福祉教育の基盤を強化するため、本年度は、「ふくし共育研修会」の開催や、佐久山地区・紫塚地区をモデル地区として、「学校と地域がつながるふくし共育プログラム」の開発を行った。また、市内小中学校へプログラムの提案、並びに地区社協への協力依頼を行った。

④モデル地区の活動

ア 紫塚小学校「認知症にやさしい地域を考えよう！IN紫塚」

- ・日時 平成28年10月25日（火）
- ・会場 紫塚小学校
- ・参加者 紫塚地区社協、紫塚地区見守り隊
- ・内容 認知症の家族の方のお話、認知症の方への接し方
グループワーク等

イ 佐久山中学校「災害が起こったら、あなたならどうする？（災害図上訓練）」

- ・日時 平成28年10月17日（月）
- ・会場 佐久山中学校
- ・参加者 佐久山地区社協・佐久山おもいやり隊
- ・内容 災害図上訓練（DIG）
 - i) 講師：認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク
矢野正広 氏
 - ii) 講話：「災害と助け合い」
DIG（災害図上訓練）
 - iii) まとめ

ウ 佐久山小学校：佐久山おもいやり隊会食会に参加

- ・日 時 平成28年8月19日（金）
- ・会 場 佐久山地区公民館
- ・参加者 地域の高齢者、佐久山おもいやり隊
- ・内 容 ゲームの手伝い、お茶出し等

エ 福原小学校：佐久山おもいやり隊茶話会に参加

- ・日 時 平成28年8月5日（金）
- ・会 場 大田原市ふれあいの丘
- ・参加者 地域の高齢者、佐久山おもいやり隊
- ・内 容 ゲームの手伝い、交流等

⑤おおたわらふくし共育研修会の開催

ふくし共育のねらいは、子どもも大人も助け合いながら共に生きる地域を創っていくことである。ふくし共育の方向性や理念を学校・地域とで共有し、地域全体で子どもたちを育て、地域福祉活動から「ふくし」を学ぶ推進体制づくり、活動実施に向けて動き出すきっかけづくりを目的として研修会を実施し、地区ごとの話し合いの場を設けた。

- ・日 時：6月27日（月）午後1時40分～4時30分
- ・場 所：湯津上地区公民館 多目的ホール
- ・参加者：115名 学校：福祉教育担当者・地域連携教員
地域：地区社協、見守り隊、地区民協、ほほえみセンター・生涯学習推進協議会等
- ・内 容：i) 講話「ふくし共育で未来の地域づくり」
講師 国際医療福祉大学准教授 大石 剛史 氏
ii) ワークショップ「地域福祉活動と子どもの学びをつなげよう」
～わくわく♥ドキドキ作戦会議～
 - ・実際に活動するための企画のポイントを学ぶ。iii) まとめ

⑥「学校と地域がつながるふくし共育プログラム」研修会

「学童・生徒のボランティア活動推進（小地域で考える福祉教育推進）モデル事業」の一環としてモデル的に取り組んだ、地域の福祉課題解決のプロセスから学ぶふくし共育プログラムを広め、擬似体験から段階的に移行していくことをねらいに、市内小・中学校福祉教育担当教員を対象とした研修会を実施した。

- ・日 時 平成29年2月7日（火）午後2時～4時30分
- ・会 場 大田原西地区公民館
- ・参加者 市内小・中学校の福祉教育担当教員

ふくし共育ボランティア「グループささえ」

- ・内 容 ふくし共育プログラムの紹介
モデル事業で取り組んだプログラムのほか、地域の福祉課題解決のために児童・生徒が、地域の方と一緒に活動したプログラムの事例の紹介

(2) 地域福祉啓発イベント開催事業

①ぼくらのまちのウォークラリーの開催支援

「ともに生きるまちづくり」について考える地域福祉啓発イベントを企画・実施する「ぼくらのまちのウォークラリー実行委員会」の支援を行った。

子どもも高齢者もハンディのある人もない人も、すべての人たちが一緒に楽しむ体験を通して、相互の理解を図り、連帯感を高め、「ともに生きるまちづくり」を進めることを目的とするものである。

- ・日 時：10月22日（日）午前9時45分～午後2時
- ・場 所：大田原市ふれあいの丘（福原1411-22）
- ・参加者：78名 ボランティア30名 実行委員19名

(3) 広報充実事業

①機関紙「おおたわら社協だより」等の広報活動の推進

機関紙「おおたわら社協だより」の裏面から2ページ分をボランティア情報紙「だいすき」として合わせて発行した。平成28年10月号からレイアウトを変えて、読みやすくわかりやすいようにした。

各種事業の周知、理事会・評議員会の動き、ボランティアの紹介や社協の仕事内容紹介、及び市民のみなさんに考えていただく地域の課題等を入れて、紙面の充実に努めた。（年6回市内全戸配布）

また「おおたわらこども社協だより」を発行し、子どもの頃から地域福祉に親しみがもてるよう、また、地域のつながりを考えられるような紙面を作成し、児童・生徒に配布した。（年2回市内小中学校に配布）

②ホームページによる広報活動

インターネット・ホームページ(URL:www.ohtawara-shakyo.or.jp/)により、本会の活動状況、イベントの開催、サービス内容等を広報している。

(4) 社会福祉士養成課程実習生の受入れ

開かれた社会福祉協議会として、福祉に携わる人材の育成をねらいに、社会福祉士養成課程の国際医療福祉大学実習生4名を、8月1日～9月6日の間受け入れた。実習生を適切に受け入れることで社協職員のOJT等資質の向上や社協の評価にもつながった。

Ⅱ 福祉サービスを利用しやすくするための支援事業

1 総合相談事業の実施

(1) 生活困窮者自立支援事業

生活困窮者自立支援事業の「自立相談支援」を市から受託し、経済的かつ社会的孤立の問題を抱える生活上の困難に直面した方に対し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援等の体制を図れるよう、行政、ハローワーク等の関係機関との連携をとりながら、相談者の困窮からの早期脱却と困窮者を支援する地域づくりを目的に取り組んだ。

○相談件数

No.	相談内容	件数	No.	相談内容	件数
1	病気や健康、障害のこと	14 件	9	地域との関係について	1 件
2	住まいのこと	8 件	10	家族関係・人間関係	4 件
3	収入・生活費のこと	58 件	11	子育て・介護のこと	3 件
4	家賃やローンのこと	5 件	12	ひきこもり・不登校	4 件
5	税金や公共料金のこと	4 件	13	DV・虐待	0 件
6	債務について	2 件	14	食べる物がない	0 件
7	仕事探し、就職について	7 件	15	その他	8 件
8	仕事上の不安やトラブル	0 件		計	118 件

○支援実施延べ回数

No.	相談内容	年間合計
1	電話相談・連絡	339 回
2	訪問同行・支援	218 回
3	面談	374 回
4	その他他機関との会議（支援調整会議以外）	12 回
5	他機関との電話照会・協議	89 回
6	その他	10 回

○制度の理解促進を図るため、PRに努めた。

平成28年11月15日 さくら市社協理事会研修部会視察受入
 平成29年 1月10日 ロータリークラブ定例会
 2月 9日 要保護児童対策協議会研修
 3月29日 地域包括支援センター他職員研修

(2) 心配ごと相談事業

市からの受託事業として「心配ごと相談事業」を行った。市民の日常生活上の心配ごとの相談に応じるため、民生委員・児童委員に相談員を委嘱し、福祉センター及び社協各支所内に相談所を開設した。また、随時電話や窓口において生活相談などを受け付けた。

○心配ごと相談開催日

地区	相談日	時間	場所	回数
大田原	毎週金曜日	9:00～正午	市福祉センター	50回
湯津上	毎月第1水曜日	13:00～16:00	佐良土多目的交流センター	12回
黒羽	毎月第1・3木曜日	9:00～正午	社協黒羽支所	23回

○心配ごと相談種別ごとの年間利用状況（総件数34件）相談者17名

種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数
生計	6	職業・生業	4	家族	8	健康・衛生	1	医療	2	人権	1
年金	1	住宅	1	結婚	0	離婚	1	事故	0	財産	3
精神衛生	1	児童福祉	0	教育・青少年	0	心身障害	1	老人福祉	0	母子福祉	1
その他	1	苦情	2								

○その他の相談件数 33件 社協窓口での相談件数（ボランティア、貸付、見守り関係を除く）

(3) 福祉金庫貸付事業

福祉金庫設置要領に基づき、低所得層に対する生活、医療等の費用の少額資金一時融資を行っている。善意銀行の拠出金を原資として1借受人あたり2万円を限度に10ヶ月無利子月賦償還する制度として実施している。

○貸付・償還状況（平成28年度）

前年度末残高 A		1,514,510 円	・前年度償還未済額 988,970 円
28 年度	貸付金額 B	1,179,000 円	・新規貸出件数 66 件
	償還金額 C	1,151,000 円	・償還完了件数 68 件
	不納欠損額 D	0 円	・不納欠損件数 0 件
	預金利子 E	17 円	・普通預金利子
	地域福祉事業へ振替 F	0 円	
	残高 G	1,486,527 円	年度繰越 (A-B+C+E-F)

相談件数 88件

※年度末貸付償還未済額は 1,016,970円

(4) 生活福祉資金貸付事業

県社会福祉協議会からの受託事務として、生活福祉資金の貸付・償還事務を行った。貸付種類は「総合支援資金」「福祉資金」「教育支援資金」「不動産担保型生活資金」の4種類である。低所得者世帯、失業者、障害者世帯及び高齢者世帯で、一定の所得基準の範囲内世帯を対象として実施した。

○貸付・償還状況（平成28年度）

貸付	新規貸付 7件	福祉資金緊急小口資金5件、福祉資金福祉費1件、教育支援資金教育支援費・就学支度費1件
	(貸付中 1件)	教育支援資金教育支援費・就学支度費1件
償還	償還中 52件	総合支援資金9件、福祉資金福祉費9件、福祉資金緊急小口資金14件、教育支援資金15件、離職者支援資金3件、臨時特例つなぎ資金2件
	償還完了 4件	総合支援資金生活支援費1件、福祉資金緊急小口資金2件、修学資金就学費・就学支度費1件
	償還免除 1件	修学資金修学費1件
相談	52件	貸付に関する相談

2 日常生活自立支援事業

(1) 日常生活自立支援事業（あすてらす）

高齢者、障がい者等で収支の判断が不十分な方の金銭管理や書類預かり等を行う、日常生活自立支援事業（あすてらす おおたわら）を下記のとおり実施した。制度の推進を図るため、社協だよりへ掲載し制度のPRに努めた。

○あすてらす利用状況

平成28年度状況	生活支援利用者数	備考
年度当初	54名	
新規契約	18名	
解約（死亡・解約）	△14名	死亡7人、申出解約7人（転居他）
平成28年度末現在	58名	

・専門員 1人 ・生活支援員 16人（社協職員3人含む）
（内訳：大田原8人、湯津上2人、黒羽6人）

・主な支援内容

日常的金銭管理サービス（預貯金の出し入れ、福祉サービス利用料等の支払）、書類等預かりサービス（預金通帳や証書等の預かり）・相談

Ⅲ 在宅福祉サービス実施事業

～民間事業者の参入しにくい地域への展開～

1 介護保険サービス

(1) 訪問介護事業

介護保険の指定事業所として、要介護認定を受けた方のところにホームヘルパーを派遣し、入浴を含む身体介護や家事の支援を行う事業。

	28年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	25,739,037円	25,655,157円	100.33%
年間延べ利用者数	889人	950人	93.58%
月平均利用者数	74.1人	80人	92.63%
ホームヘルパー数	23人	26人	88.46%

(2) 居宅介護支援事業

介護保険の指定事業所として、ケアマネジャーが、利用者が在宅生活を維持できるよう、計画（ケアプラン）を立て、サービスの利用調整を行う事業。

	28年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	6,602,707円	11,040,490円	59.80%
年間延べ利用者数	564人	946人	59.62%
月平均利用者数	47人	79人	59.49%
介護支援専門員	2.66人	4.0人	66.50%

(3) 受託訪問介護事業の推進

介護保険の対象とならない高齢者等に対しホームヘルパーを派遣する「生活支援ホームヘルプサービス事業」を市から受託し、訪問介護事業を実施した

	28年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	186,000円	217,000円	85.71%
年間延べ利用者数	24人	27人	88.89%
月平均利用者数	2人	3人	66.67%

(4) 介護予防支援事業の業務受託

要支援1・2の認定を受けた方のケアプラン作成を指定介護予防支援事業所（地域包括支援センター）から受託し、介護予防支援事業を実施した。

○受託の状況

	利用回数			受託金額
	初回	2ヵ月以降	合計	
中央包括支援センター	0回	28回	28回	122,920円
西部包括支援センター	0回	0回	0回	0円
東部包括支援センター	1回	199回	200回	881,063円
合計	1回	227回	228回	1,003,983円

平成28年度 受託金額 1,003,983円
 前年度 2,008,865円
 前年比 50%

2 障害福祉サービス

(1) 障害福祉サービス事業

障害者総合支援法と児童福祉法に基づく在宅サービス事業及び大田原市地域生活支援事業を受託し、ホームヘルパーを派遣した。

○計画相談支援事業

	28年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	2,019,252円	1,856,946円	108.74%
年間延べ利用者数	128人	122人	104.92%
月平均利用者数	10.7人	11人	97.27%
相談支援専門員	1人	1.25人	80.00%

○障害福祉サービス（居宅介護）

	28年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	7,581,320円	8,979,625円	84.43%
年間延べ利用者数	341人	317人	107.57%
月平均利用者数	29人	27人	107.41%

○同行援護サービス

	28年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	1,620,030円	839,324円	193.02%
年間延べ利用者数	94人	75人	125.33%
月平均利用者数	7.8人	7人	111.43%

○移動支援

	28年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	74,050円	126,600円	58.49%
年間延べ利用者数	9人	16人	56.25%
月平均利用者数	0.8人	2人	40.00%

3 その他のサービス

(1) 日常生活用具貸与事業

在宅の寝たきり高齢者及び重度の障がい者等に対して、日常生活用具を貸与することにより、福祉の増進を図ることを目的に、ギャッジベッド、車椅子など2品目について無償貸与した。

○品目別貸与状況

地区	貸出件数		保有台数	
	ベッド	車いす	ベッド	車いす
本所	37 件	88 件	22 台	41 台
湯津上支所	0 件	8 件	0 台	4 台
黒羽支所	15 件	8 件	16 台	20 台
計	52 件	104 件	38 台	65 台

(2) リフト付き自動車貸出事業

車いすを使用していて公共機関の利用が困難な市内在住の在宅者の方に対して、在宅福祉の向上を図るために、車いす用リフト付き自動車を無料で貸し出しを行った。

○リフト付き自動車貸出件数 45件

(3) 高齢者等外出支援事業

在宅のひとり暮らし高齢者等の通院等に必要な交通の便を確保し、福祉の向上を図ることを目的とした、「大田原市高齢者等外出支援事業」を市から受託し、運行業務、車両管理業務等は、山和タクシー・NPO法人サポートセンター清流に委託し事業の適切な運営に努めた。

○外出支援事業延べ利用回数 15,087回（受委託金額 21,653,100円）

なお、本事業は平成29年度から市が運営に携わり、より効率的に実施される。

(4) 福祉サービス適正化事業

事業所ごとに苦情解決責任者を設け苦情解決を図った。また6名の委員による第三者委員会を設置している。

(5) 大田原市介護支援ボランティアポイント制度

介護予防のためのボランティア活動「いきいき活動」を通じて、65歳以上の方の社会参加と介護予防の推進を図り、健康でいきいきとした地域社会づくりを推進することを目的に、大田原市介護保険制度の地域支援事業として、市が実施主体となる事業を社協が受託した。

○与一いきいきメイト養成講座

期 間 平成28年7月26日～11月24日（7回）

受講者数 70名

○与一いきいきメイト登録者 69名

○いきいき活動受入施設 ほほえみセンター 18箇所

IV 法人の基盤強化事業

1 福祉のまちづくり市民参加運営事業

(1) 理事会・評議員会の開催

理事会

第1回理事会

日時：平成28年5月25日（水）午後3時30分～5時

場所：市福祉センター 研修室

＝報告＝

報告第1号 会長の専決処分事項の報告について（平成27年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第2号）について）

＝議案＝

議案第1号 平成27年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の認定について

議案第2号 平成27年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支決算の認定について

＝会計監査報告＝

議案第3号 大田原市社会福祉協議会ねたきり高齢者等紙おむつ等給付事業実施規程の廃止について

議案第4号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員の選任について

第2回理事会

日時：平成28年12月19日（月）午後3時00分～4時30分

場所：市福祉センター 研修室

＝議案＝

議案第5号 平成28年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第1号）について

議案第6号 平成28年度善意銀行払い出しの配分について

議案第7号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会福祉サービスにおける苦情解決に関する第三者委員の承認について

議案第8号 大田原市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所運営規程の廃止について

議案第9号 大田原市地域福祉活動計画推進委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第10号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の変更について

議案第11号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款施行細則の一部変更について

議案第12号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営細則の制定について

議案第13号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について

第3回理事会

日時：平成29年3月22日（水）午後3時30分～4時30分

場所：市福祉センター 研修室

＝報告＝

報告第2号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の変更について

＝議案＝

議案第14号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の一部変更について

議案第15号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事務局規程の一部を改正する規程の制定について

議案第16号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会嘱託職員の勤務条件等に関する規程の一部を改正する規程の制定について

議案第17号 大田原市社会福祉協議会介護予防・日常生活支援総合事業における指定第一号訪問事業運営規程の制定について

議案第18号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規程の一部を改正する規程の制定について

議案第19号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程の制定について

議案第20号 平成29年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画（案）について

議案第21号 平成29年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支予算（案）について

議案第22号 平成29年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会が大田原市と交わす委託契約等について

評議員会

第1回評議員会

日時：平成28年5月26日（木）午後1時30分～3時

場所：市福祉センター 研修室

＝報告＝

報告第1号 会長の専決処分事項の報告について（平成27年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第2号）について）

＝議案＝

議案第1号 平成27年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の承認について

議案第2号 平成27年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支決算の承認について

＝会計監査報告＝

議案第3号 大田原市社会福祉協議会ねたきり高齢者等紙おむつ等給付事業実施規程の廃止について

議案第4号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員を選任について

第2回評議員会

日時：平成28年12月22日（木）午後1時30分～3時

場所：市福祉センター 研修室

＝議案＝

議案第5号 平成28年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算(第1号)について

議案第6号 大田原市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所運営規程の廃止について

議案第7号 大田原市地域福祉活動計画推進委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第8号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の変更について

議案第9号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款施行細則の一部変更について

第3回評議員会

日時：平成29年3月23日（木）午後1時30分～2時30分

場所：市福祉センター 研修室

＝報告＝

報告第2号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の変更について

＝議案＝

議案第10号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の一部変更について

議案第11号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事務局規程の一部を改正する規程の制定について

議案第12号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会嘱託職員の勤務条件等に関する規程の一部を改正する規程の制定について

議案第13号 大田原市社会福祉協議会介護予防・日常生活支援総合事業における指定第一号訪問事業運営規程の制定について

議案第14号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規程の一部を改正する規程の制定について

議案第15号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程の制定について

議案第16号 平成29年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画(案)について

議案第17号 平成29年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支予算(案)について

(2) 会員加入の推進

社会福祉への理解と協力を求め、普通会员、特別会員、賛助会員の加入促進に努めた。

○会員加入の状況

	会費	会員数	納入会費金額	金額前年比
普通会员	500円	16,362世帯	8,181,900円	98.51%
特別会員	1,000円	791件	1,039,000円	97.28%

賛助会員	5,000円	32施設	160,000円	114.29%
計			9,380,900円	98.61%

2 基金・寄付事業

(1) 善意銀行運営事業

社会福祉のために役立つようにと市民等から寄せられた金品等の善意の寄付を有効利用できるよう、適正な善意銀行の運営に努めた。

平成28年度収支状況	収入の部	前年度繰越金	4,720,531円	預託者(敬称略)	
		預託金額 (H28.4.1～ H29.3.31)	441,133円	栗原敏子 大田原市福祉ふれあいまつり実行委員会 連合栃木那須地域協議会 湯津上女性セミナー 湯津上地区高齢者学級	
		預金利子	57円	普通預金利子	
		(合計)	5,161,721円		
	支出の部	配分金額	630,000円	市身障児(者)保護者会	80,000円
				市ボランティア連絡協議会	260,000円
				市いきいきクラブ	80,000円
				市身障者福祉会	190,000円
				市母子寡婦福祉連合会	20,000円
		(合計)	630,000円		
収入支出差引残高		4,531,721円			

物品預託	東芝グループ労働組合連合 会那須地区連合会	タオル	那須中央農業共済 組合	洗剤、カレンダー
	菊地文彦	紙おむつ	相馬兼雄	紙おむつ
	連合栃木那須地域協議会	タオル	匿名	もち
	大田原商工会議所 女性部	折り紙細工	小西久美子	もち
	栃木県民共済生活協同組合	軽トラック	コーヒーカップ	車椅子
	山崎光夫	紙おむつ、車椅子	清風園	掛け布団
	JA なすの湯津上女性会	タオル	奥田圭一	はがき
	下町1 神輿会	祭り絆纏 等	高橋千賀子	タオル
	佐川芳江	電動ベッド	大田原高等学校生 徒会	雑巾
	齋藤義昭	紙おむつ	植木 武	タオル、歯ブラシ
	東電常備労組栃木北支部女 性委員	タオル		

(2) 地域福祉基金造成事業

大田原市における地域福祉の増進に役立てるため「地域福祉基金（ぎんなん基金）」が設けられている。寄附、利息等による基金の運用を行っている。

○ 基金運用状況

前年度末基金原資残高 ①	214,851,662円	
平成28年度寄付金額 ②	201,853円	・ 寄付件数 4件（敬称略） 紫塚地区社会福祉協議会 関 洋子 つぼみ会 大田原ライオンズクラブ
預金利息等 ③	1,448,834円	平成23年栃木県公募債利金含
区分間繰入金支出 ④	1,444,991円	地域福祉事業費として
平成28年度原資取崩額	(5,000,000円)	
本年度末基金原資残高 ① + ② + ③ - ④	210,057,358円	定期預金等へ積立

(3) 赤い羽根共同募金事業

社会福祉法人栃木県共同募金会大田原市支会として、10月1日から12月28日まで
の期間、募金活動を行った。平成27年8月24日に市支会委員会を開催し、募金運動
に対する取り組み方針、募金配分先を協議した。

○平成28年度共同募金実績一覧

(単位：円)

種 別	募金目標額	募金実績額	達成率 (%)	前年度実績額
戸別募金	5,789,000円	5,793,571円	100.08%	5,812,525円
特別募金	3,283,000円	3,140,840円	95.67%	3,335,854円
街頭募金	260,000円	424,359円	163.22%	275,933円
学校募金	324,000円	330,937円	102.14%	359,421円
職域募金	435,000円	447,454円	102.86%	450,565円
イベント募金等	140,000円	163,840円	117.03%	180,462円
合 計	10,231,000円	10,301,001円	100.68%	10,414,760円

○共同募金配分金事業

平成27年度の募金実績に応じて、県共同募金会から6,534,760円が大田原市支会に配分された。配分先は以下の通りです。

・食事サービス助成	3,815,000円
・友愛訪問活動支援	90,000円
・福祉小冊子「ともに生きる」印刷費	783,561円
・各種団体活動助成	700,000円
・地区社協活動助成	1,000,000円
・災害ボランティア講座	146,199円

3 その他

(1) 大田原市福祉センター管理運営事業

市からの委託を受けて、市福祉センターの管理運営にあたり、各種講座や会合、集会等に次のとおり利用があった。

区 分	総数	研修室1.2	研修室3	調理室	相談室
市福祉センター	602件	226件	192件	99件	85件

○「おもちゃの図書館」の運営

おもちゃ遊びをとおして、障がいのある児童もない児童もふれあい、交流活動が行えるように福祉センター内に設置している「おもちゃの図書館」の運営を行った。

□ その他の事項

1 表彰等受賞者氏名（敬称略）

第22回 栃木県民福祉のつどい

平成28年8月28日（金）

栃木県知事表彰

民生委員・児童委員：	石井 恵子 大久保 征美
社会福祉団体従事者：	井上 康子 郡司 千尋（社協職員）
ボランティア：	大田原ふるさと民話の会

栃木県社会福祉協議会会長表彰

社会福祉施設・団体関係功労者：

西部地域包括支援センター 矢作 エツ子

晴風園

〃

吉澤 和代

阿久津 智美

栃木県共同募金会会長表彰

共同募金功労者： 田代 一夫 車田 正信 戸村 一之
永山 二一 鈴木 作三 鈴木 一芳

平成28年度 全国社会福祉大会

平成28年11月11日（金）

厚生労働大臣表彰

ボランティア功労者：

地域の高齢者福祉を考える会ぶらんこの会